様式3

学校番号

31

令和7年度　学校評価書　（ 計画段階 ）

福岡県立光陵高等学校

スクール・ミッション （本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像）	誠実にして、自主性・創造性に富み、地域を愛し、地域から愛され信頼される人材を育成する学校 福津市を中心とした地域との連携を通して故郷を大切にする心を育むとともに、持続可能な社会の構築に向けた探究的な学びやキャリア教育を通して、豊かな創造力、論理的思考力、自主性を持つ誠実な人材を育成します。	
スクール・ポリシー （三つの方針）	グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に関する方針）	・何事にも主体的に取り組み、自己肯定感の高い生徒 ・高い志をもち粘り強くあきらめない生徒 ・自分の意見を伝え、他者と協働できる生徒 ・礼節を重んじ、きまりやルールを守り、正義感あふれる生徒 ・他者の気持ちを思いやり、優しく素直で誠実な生徒
	カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に関する方針）	・多様な学力や進路希望に応じた教育課程及びクラス編成 ・総合的な探究の時間において、地元自治体と協力連携したキャリア教育の推進 ・可能性を伸ばす、検定や資格等の取得支援 ・心豊かな人間を育てる読書活動の推進 ・海外研修や留学生との交流による英語力の伸張とグローバル人材の育成
	アドミッション・ポリシー （入学者の受け入れに関する方針）	・基本的生活習慣と基礎学力を身に付け、自らを向上させようとする生徒 ・勉強や部活動、様々な行事等、何事にも積極的に努力したい生徒 ・生徒会活動やボランティア活動に挑戦したい生徒 ・主体的に学び、自分の進路を切り拓きたい生徒 ・社会人基礎力を身に付け社会で活躍したい生徒

学校運営計画（4月）

学校運営方針	豊かな教養を身に付け、誠実にして、自主性・創造性に富み、社会に貢献できる心身ともに健全な人間を育成する		評価 （総合）
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
昨年度の成果として ・ICTを授業及び教員の業務縮減で活用し一定の成果をあげた。 ・地域連携を文化祭、総合的な探究の時間で実施できた。 ・学校行事等で生徒会主体の企画・運営ができた。 以上が挙げられる。 また、次の5点が課題である。 ・リアテンダント利用による生徒分析、授業改善を推進させる。 ・ICT活用により思考力、判断力、表現力の育成を図る。 ・ICT活用による授業改善をさらに進め、個別最適な学習へつなげる。 ・地域との連携事業やボランティア活動を充実させ、学校の特色を出す。 ・光陵高校の強みを整理し、学校の魅力を中学校、地域に発信する。	多様な学力に応じたICTの活用による基礎・基本の定着	ICTの活用により中学校段階までの各教科における基礎基本事項の振り返りを確実に行う。	
		ICTの活用により授業内容の振り返りができるシステムの構築を図る。	
		ICTの活用により設問の難易度について個別最適化を図る。	
	地域との連携を通じた探究活動及びボランティア活動の充実	「総合的な探究の時間」での地域探究を通じた探究活動の充実を図る。	
		地域からの要望に応える生徒会及び希望者によるボランティア活動の充実を図る。	
	人権と人格が尊重される安心安全な学校づくりの推進	生徒同士のつながりを大切にし、自分の人権だけでなく、他者の人権についても正しく理解し、相互に尊重し合う教育活動を展開する。	
		あらゆる教育活動で教師から生徒への声かけを行い、生徒の小さな変化に気づき、情報の共有化を図る。	
		いじめ・不登校等への対応について生徒指導主事等を中心として組織的な支援及び指導体制を構築する。	
	特別支援教育の視点を踏まえた学級経営及び授業展開による生徒育成	特別支援コーディネーターを中心とする校内の支援体制を構築し、学級担任等を支える。	
		生徒情報を共有し、配慮が必要な生徒への共通理解を図る等の生徒理解の推進及び適切な対応による生徒指導、授業を実践する。	
		基礎・基本の定着による「わかる授業」の展開と授業の「めあて」「考える視点」「活動の目的、手順」「発表形式」「まとめ－確認、振り返り」を活かした展開による授業力向上を図る。	
	地域に根付く全日制普通科高校としての学校活性化及び「選ばれる学校づくり」の推進	基本的生活習慣の実践及び定着を図る。	
		生徒の第一志望決定に資する情報提供とともに第一志望進路の実現を図る。	
		生徒会を主体とした学校行事等の企画運営の充実を図る。	
		中学生、保護者から選ばれる要素を網羅した広報活動の充実を図る。	

様式3

評価項目		具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート （外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート （外部アンケート等）の結果等
教務部	教務課	「学力3要素」と学習における主体性の育成に努める。	授業アンケートを活用し、授業改善を行う。	宅習時間調査 授業アンケート	
			宅習時間調査を行い、宅習時間の増加につなげる。		
			観点別評価を用いて、生徒に課題を把握させる。		
		ICTを活用した指導の推進と校務の効率化を図り、検証を行う。	クロムブック、リアテンダントの検証を行う。	授業アンケート	
			校務の効率化を行い、働き方の改善を行う。		
			校務支援システムの処理をできる職員を増やす。		
	企画課	行事・儀式の運営や文書作成において、各分掌の役割を明確にし、円滑に行事運営を行う。	行事の計画、文書作成にあたり関係部署や業務分担を明確にする。	行事後のアンケート（職員向け）	
			昨年度の反省を活かし、改善すべき点を早めに確認する。		
			文書記録の適切な保管・整理を行う。		
		円滑なPTA活動の運営を図るとともに、業務内容の見直しを行う。	役員会や各委員会で年間の予定の打ち合わせを入念に行う。	PTA活動に関するアンケート	
			PTA活動の実施状況を踏まえ、業務内容の精選を行う。		
			役員会、各専門委員会の記録の保存を依頼する。		
生徒部	生徒指導課	全職員で指導に係る一貫体制を構築し継続的指導・改善を図る。	クラス・学年・部活動担当との連携を密に図る。	いじめ記名無記名アンケート	
			各種アンケート実施後の経過観察をより強化する。		
			生徒の様相観察を常に実施し、保護者との連携を密に図る。		
		行事を通した人間形成の構築を図り強く逞しい生徒の育成に努める。	行事成功にむけてリーダー育成を強化する。	学校生活アンケート、行事後のアンケート	
			生徒会活動・委員会を充実させ、活性化を図る。		
			行事アンケートから課題を見つけ改善策を練る。		
	保健環境課	教育活動における安全を確保し、疾病や事故・怪我を防ぐ。	行事における救護体制や、個別の安全計画を立てる。	保健アンケート、保健調査等	
			保健室との連携を密にし、早めの生徒対応に繋げる。		
			保健関連の書類の様式を改善する。		
		保健委員会と美化委員会による安全・衛生活動の活性化を推進する。	ボランティア活動や校内美化の取組を実施する。	学校生活アンケート 行事後のアンケート 委員会による独自アンケート	
			定期的に委員会を開催する。		
			生徒が主体的に学校生活を送れるよう改善する。		
進路部	進路指導課	個に応じた実践的な学習支援と、進路情報の共有・分析を行う。	模擬試験を通して学習習慣と成果を確認するサイクルを確立させる。	進路希望調査 進研学力テスト・到達度テストの結果	
			K-Semiや面接・小論文対策に主体的に取り組める体制を作る。		
			学年間で連携して生徒分析をし、個に応じた進路指導を行う。		
		主体的・自律的な学びの支援と、地域と連携した探究活動の充実を図る。	進路の手引きを活用し、進路について具体的に考える時間を設ける。	進路行事・探究活動後の振り返りアンケート	
			キャリアイベントをより充実させ、生徒の進路選択につなげる。		
			探究活動を通して、探究的・協働的学びの基礎を身に付けさせる。		
	広報課	小中学生・保護者および地域が求める情報を適宜発信する。	継続的な中学校訪問による情報交換の実施。	中学生体験入学等アンケート	
			進路行事の多様化と実施内容の充実化。		
			アンケートの適宜実施とフィードバック。		
		日々の教育活動をアピールするための体制を整える。	各広報活動における分掌・学年・部活動との連携。	新1年生対象アンケート（体験入学参加有無等）	
			学校HPやインスタグラムの効果的運用と記事掲載の効率化。		
			他校との連携および情報交換。		

様式3

統括研修部	研修図書課	ICTの効果的な活用等による個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現する授業改善を推進する。	年1回の公開授業月間や各教科の研究授業の設定。 年6回の校内職員研修の計画・実施。 研修だよりを活用したICTの効果的な活用等の情報共有。	授業アンケート	
		自主的な読書活動ができるよう環境整備を推進し、読書習慣の形成・定着を図る。	図書委員会の活性化と図書館だよりの定期的な発行。 図書館のレイアウトの変更や書籍の充実による環境整備。 ビブリオバトル等の実施による読書好きな生徒の育成。	図書委員会活動のアンケート 書籍の購入希望調査	
	第1学年	高い目標を設定させ、家庭学習習慣を確立することで基礎学力を定着させる。	HRや総合的な探究の時間を通して、進路を考える時間を多く与える。 学級間競争や学級内競争を適宜取り入れ、生徒の学習意欲を刺激する。 外部模試などを活用し、学力を客観的に捉えさせ、主体的な学びにつなげる。	授業アンケート 進研学力テストの結果 各行事事後アンケート	
		挨拶やマナーを身に付けさせる。また、生徒同士につながりを持たせる場面を設定し互いの価値観を受容する態度を育成する。	校則やマナーの必要性を説き、生徒に納得させた上で学校生活を送らせる。 あらゆる場面で教師が率先して模範を行う。 SNSの利用マナー等、生徒の実態に応じた指導を定期的に行い、生徒の規範意識を高める。	学校生活アンケート 各行事事後アンケート	
	第2学年	何事も自分で確認させ、自分の責任で行動する主体的な姿勢を更に強化するとともに、クラスの仲間と協働的に取り組む力を育む。	昨年度と同様に意義や本質を伝え、納得と理解に基づく主体的な判断と行動を促す。 学年の方針を学年団全員で再度確認し、朝礼・終礼等におけるChromebookの活用等で取り組み方に差が出ないようにする。 口頭で情報を与えすぎず、必要最低限に絞る。	学校生活アンケート・各行事後のアンケート	
		現状に満足せず、自らの可能性に挑戦し続ける姿勢を育てる。	進路行事について、昨年度よりも学年・担任・教科担当からの事後指導に力を入れることで、ただ取組を行うだけで終わらせず、生徒の進路意識の向上につなげる。 課外廃止により減少した演習量を、しっかりと授業で補いつつ、学習意欲の高い生徒を対象に授業や模試とリンクした家庭学習用の教材を与え、さらに学びを深めさせる。 一昨年度に行っていた成績上位者面談を復活させる。	進路希望調査・進研学力テストの結果	
	第3学年	学校行事等において最上級生として模範を示し、日常的な規範意識の向上に努める。	挨拶・校歌指導及び日頃の生活態度についても気を配らせる。 行事終了後のリーダー集会や進路決定者集会等を実施する。 1年間継続して出席、授業参加に取り組ませる。	学校生活アンケート	
		高い進路目標を持ち、それに向かって努力をいとわない姿勢を育み、その実現に向け、生徒への個別最適な支援を行う。	年内入試も積極的に活用し、生徒の第一志望実現を目指す。 生徒が主体的に学習に取り組めるような環境を整える。 1学期で志望理由書講演会等実施し、試験への意識付けをさせる。	進路希望調査・進研模試 宅習時間調査 年内入試志願者数と合格率	
事務部	事務室	予算の効率的・効果的な執行	本校の実情に応じた予算編成並びに職員間の相互チェックの徹底を図る。	財務会計事務に関しては県の条例・財務規則に基づいて処理しているためアンケートは難しい。	
		本校教育活動の円滑な実施に向けた施設設備等の維持管理及び整備	職員間での情報共有を密に行い、教育活動に支障が生じないよう、予算獲得をはじめ、迅速な対応に努める。	学校生活アンケート	